

THE KITAKAMI TIMES

国際リニアコライダーの英語広報誌（日本語要約版）

12月6日 岩手県最大の国際交流イベント 「2015 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」

岩手県 和山アマンダ



12月6日、盛岡市のいわて県民情報交流センター「アイーナ」において、「2015 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」が開催されました。

フェスタでは、県内在住の外国人がフィリピン、ペルー、韓国、イギリスなど、世界の国々を紹介、地域の方々と交流し、約3,600人が来場しました。

今年のテーマは「ネパールの復興支援」でした。昼食では、盛岡市内のネパール料理店がカレーを販売したほか、海外派遣体験学生のレポートやチャリティコンサート、ILCの講演会が開かれました。

岩手県科学 ILC 推進室は、ILC の特設コーナーを出展しました。ILC の講演では、奥州市のアンナ・トマスさんと私で、一般の方を対象に、ILC の研究内容や産業の創出、岩手の国際化について話しました。多くの学生から、「いつか ILC で研究をしたい」との話がありました。

ILC は地下の実験施設として知られていますが、素粒子の研究を一般の方に分かり易く説明することは難しいです。経済効果や科学の進歩などに県民は期待を寄せていますが、放射能や建設費に対する不安もあり、丁寧な説明が必要です。

また、岩手の国際化についても、議論しました。多くの外国人が地域に入ること、自然環境への影響などを心配する声もありました。岩手には、自然豊かな里山がありますが、この自然環境を保全し、ILC の建設を進めることが必要です。また、外国人研究者等を受け入れ、お互いの文化を理解すること、多文化の共生を進めることが大事だと思います。

現在、岩手県には約5,600人の外国人が住んでいますが、今回のフェスタのように、外国人と地域の方々交流しお互いの文化を理解すること、ILC が岩手と世界の架け橋になることを期待しています。

県民からの声～ILCについてどう思いますか？

今年も、様々な動きがありましたが、県民は ILC をどう考えているのか、インタビューをしました。ILC はかなり知られていましたが、ILC の研究や岩手や世界に与える影響など、更に説明が必要です。今後も、みんなで ILC を PR していきましょう。

大隅あきよしさん

ぜひ、研究で岩手に来ていただくとともに、岩手のいろいろな素晴らしいところを見て欲しいと思います。冬に研究会やセミナーを考えていましたら、ぜひスキー場にお越しください。安比高原でした！

Cà Remさん ベトナム

これから ILC ができれば、原発の代わりに何か新しいエネルギーができるのではないかと思います。岩手は、第二の故郷になると思います。三大麺もあり、人は優しく、住みやすくて良いところです。

大隈聡子さん&うたさん

うたさん

ILC が実現すれば、外国人がいっぱい来て、岩手が東京のように発展していくと思います。

聡子さん

スイスのような研究所が沢山できればすごいと思いますが、ILC 自体がよく分かりません。私たちは4年前に東京から岩手に来ました。山や川、湖など、大自然がいっぱいあり、すごく楽しんでるので、世界の研究者たちが家族を連れてきても絶対に楽しめると思います。ぜひウェルカム、来てください！

Sofia Latifさん イギリス

私は物理学を勉強したので、ぜひ ILC に関わりたいです。ILC に向けて、行政には多言語サービスや多言語災害情報を提供して欲しいですね。岩手は美しい所なので、ぜひいらしてください。ILC の実現を応援してください！

リナン 李楠さん 中国

ILC が岩手に建設されれば、世界各国の研究者たちがこもりに国際的なイメージがあります。岩手はとても住みやすいところだと思います。現地の人々の心も優しいので、ぜひいらしてください。



三上日奈子さん

ILC については新聞でよく見かけますが、詳しくは分かりません。ILC が岩手にできれば、もっと外国人の方が来ると思うので、その方々との交流が楽しみです。ぜひ ILC が実現するように頑張ってください。期待しています。

澤館信子さん

ILC は聞いたことありますが、まだよく分かりません。岩手はとても素敵なおところなので、ぜひここに来てもらっていろいろな経験をして欲しいと思います。例えば、八幡平をお勧めします。私はその自然が好きです。

Hailey Shoemakerさん アメリカ

岩手で加速器を作るのは本当に素敵なお話です。岩手が大きく変わるだけでなく、基礎研究が日本に来ることはとても重要だと思います。10~15年後、岩手は世界に知られているはず。私はスイスに住んだことがあります。日本とスイスの国民性が似ています。今、CERN (セルン) で研究している人たちは、岩手も好きになると思います。

中屋達雅さん

科学は、どの世界にあっても、すぐ実用的にならないと思いますが、将来の東北の人達が、たぶんそれがあって良かったと思うのかどうか…。まだ、分かりません。ILC に向けて、必要な準備は、短時間では言えないですが、資金の準備をして欲しいです。

高山翔聖さん

中学校に、ILC の関係者が来て、自分も素粒子の研究を助けるような事に就きたいと思いました。外国人もいっぱい来るので、地域の復興や活性化にもなると思います。経済効果もあると思うので、発展していくのがとても楽しみです。

※インタビューの一部を抜粋して、ご紹介しています。



THE KITAKAMI TIMES ・ ILC の英語版広報誌 第4号

発行：岩手県国際リニアコライダー推進協議会

TEL：019-624-5880 FAX：019-654-1588

協力：岩手県、奥州市、一関市、ILC サポート委員会など

